

歴史を感じる 南卦寺

No.19



南卦寺の紹介

南卦寺は、平安時代の初めに来遊した伝教大師(最澄)が自らの手で観音像を彫刻し、御堂を建立して大亀山南卦寺と号したと伝えられています。南卦寺には、修行僧がおられ、多いときには一度に48人もの修行僧がおられたそうです。南卦寺は、幾度かの戦乱の兵火によりほとんど焼失しましたが、本像の千手観音のほか不動明王、毘沙門天が昔のまま残っています。地元の人々にとっても大切に管理されています。33年の一度ご開帳にしか本像を見ることができない神聖な場所です。

《選んだ理由》

私は、杉野に住んでいながら南卦寺がどこにあるのかわかりませんでした。地域の方が、私たち地元の小中学生に特別開帳をしてくださいました。昔の戦乱の兵火から残っている本像を見て、当時のななの着色で残っていること驚きを感じました。このすばらしき建造物は杉野の宝です。いつまでも残したいと思いましたので選びました。